

岩崎 純一 著

『岩崎純一全集』 第八十八卷「芸術、文化、言語、文学（二の八）」

人工言語、国家内共同体言語の制作と社会実験（第四期～第五期岩崎式言語体系、岩崎式日本語）

編纂、監修 岩崎純一学術研究所『岩崎純一全集』編纂局

巻頭言

本巻は、『岩崎純一全集』の第八十八巻を成し、岩崎の言語の著作物のうち、人工言語、国家内共同体言語の制作と社会実験（第四期～第五期岩崎式言語体系、岩崎式日本語）に関する述作を収める。

目次

巻頭言

第一編 〇歳～十九歳

第二編 二十歳～二十九歳

岩崎式英語 (Iwasaki's System of Reconstructing English)

第三編 三十歳～三十九歳

『「第四期岩崎式日本語」大全』

『「第四期岩崎式日本語」大全』（修正版）

『「第四期岩崎式日本語」大全』（英語訳） **翻訳中**

『「第四期岩崎式日本語」大全』別添資料(1) 一般学習者向け

文法マニュアル

『「第四期岩崎式日本語」大全』別添資料(2) 記号・用語・概念の一覧

念の一覧

『「第四期岩崎式日本語」大全』別添資料(3) 使用者の分布

『「第四期岩崎式日本語」大全』別添資料(4) 真格一覧表

『「第四期岩崎式日本語」大全』別添資料(5) 我燈一覧表

『「第四期岩崎式日本語」大全』別添資料(6) 検証実験の回答

『「第四期岩崎式日本語」大全』別添資料(7) 動詞の連続体性

『「第四期岩崎式日本語」大全』別添資料(8) 言語変遷過程表

『「第四期岩崎式日本語」大全』別添資料(9) 話題格の模式図

『「第四期岩崎式日本語」大全』別添資料(10) 水海道方言との

類似性

『「第四期岩崎式日本語」大全』続編別添資料(1) 論理値表

『「第四期岩崎式日本語」大全』続編別添資料(2) 構文一覧

『「第四期岩崎式日本語」大全』続編別添資料(3) 超数学的言

明の算術的表現としての岩崎式日本語の扱い

第四期岩崎式日本語について

「第四期岩崎式日本語」の解説(本編)を全公開しました

Questions (英語圏の閲覧者向けのページ)

第五期岩崎式日本語教本

第四編 四十歳～四十九歳

第五編 五十歳～五十九歳

第六編 六十歳～六十九歳

第七編 七十歳以降

第八編 著作者の一部および著作者権者が岩崎純一であるもの

第九編 著作者権者が岩崎純一であるもの

第二編 二十歳〜二十九歳

岩崎式英語 (Iwasaki's System of Reconstructing English)

二〇〇五年十一月十八日 起筆  
二〇〇六年二月三日 公開  
二〇一七年十月九日 最終更新

開発中・・・

アメリカ精神医学会が2013年5月に新たなDSM(バージョン5)を発表したため、岩崎式言語体系にも変化・改訂が生じる可能性があります。

『「第四期岩崎式日本語」大全』本編

二〇〇五年十一月二十四日 起筆  
二〇一二年八月十七日 公開  
二〇一二年七月二十九日 最終更新

別添資料を見よ。

『「第四期岩崎式日本語」大全』本編(修正版)

二〇〇五年十一月二十四日 起筆  
二〇一二年八月十七日 公開  
二〇一三年六月一日 最終更新

別添資料を見よ。

『「第四期岩崎式日本語」大全』本編(英語訳)

二〇〇五年十一月二十四日 起筆  
二〇一二年八月十七日 公開  
二〇一三年六月一日 最終更新

別添資料を見よ。(翻訳中のため、途中まで掲載。)

『「第四期岩崎式日本語」大全』別添資料(1) 一般学習者向け文法マニユアル

二〇〇五年十一月二十四日 起筆  
二〇一二年八月十七日 公開  
二〇一二年七月二十九日 最終更新

別添資料を見よ。

『第四期岩崎式日本語』大全』別添資料(2) 記号・用語・概念の  
一覧

二〇一二年三月一日 起筆

二〇一二年八月十七日 公開

二〇一五年十一月二十五日 最終更新

別添資料を見よ。

『第四期岩崎式日本語』大全』別添資料(3) 使用者の分布

二〇一五年十一月二十四日 起筆

二〇一二年八月十七日 公開

二〇一五年十一月二十五日 最終更新

別添資料を見よ。

『第四期岩崎式日本語』大全』別添資料(4) 真格一覧表

二〇一五年十一月二十四日 起筆

二〇一二年八月十七日 公開

二〇一五年十一月二十五日 最終更新

別添資料を見よ。

『第四期岩崎式日本語』大全』別添資料(5) 我燈一覧表

二〇一五年十一月二十四日 起筆

二〇一二年八月十七日 公開

二〇一五年十一月二十五日 最終更新

別添資料を見よ。

『第四期岩崎式日本語』大全』別添資料(6) 検証実験の回答

二〇一五年十一月二十四日 起筆

二〇一二年八月十七日 公開

二〇一五年十一月二十五日 最終更新

別添資料を見よ。

『第四期岩崎式日本語』大全』別添資料(7) 動詞の連続体性

二〇〇五年十一月二十四日 起筆

二〇一二年八月十七日 公開

二〇一五年十一月二十五日 最終更新

別添資料を見よ。

性

二〇〇五年十一月二十四日 起筆

二〇一二年八月十七日 公開

二〇一五年十一月二十五日 最終更新

『第四期岩崎式日本語』大全』別添資料(8) 言語変遷過程表

別添資料を見よ。

二〇〇五年十一月二十四日 起筆

二〇一二年八月十七日 公開

二〇一五年十一月二十五日 最終更新

別添資料を見よ。

『第四期岩崎式日本語』大全』続編別添資料(1) 論理値表

二〇〇五年十一月二十四日 起筆

二〇一二年八月二十九日 公開

二〇一六年九月十一日 最終更新

『第四期岩崎式日本語』大全』別添資料(9) 話題格の模式図

別添資料を見よ。

二〇〇五年十一月二十四日 起筆

二〇一二年八月十七日 公開

二〇一五年十一月二十五日 最終更新

別添資料を見よ。

『第四期岩崎式日本語』大全』続編別添資料(2) 構文一覧

二〇〇五年十一月二十四日 起筆

二〇一三年二月二十四日 公開

二〇一六年九月十一日 最終更新

『第四期岩崎式日本語』大全』別添資料(10) 水海道方言との類似

別添資料を見よ。

『「第四期岩崎式日本語」大全』続編別添資料(3) 超数学的言明の算術的表現としての岩崎式日本語の扱い

二〇一二年十月二十日 起筆

二〇一三年二月二十八日 公開

二〇一三年三月十一日 最終更新

別添資料を見よ。

第四期岩崎式日本語について

二〇一二年七月二十二日 起筆、攔筆、公開

先週から、本格的に第四期岩崎式日本語の解説の整理を始めました。

これまでの使用者は、主に解離性障害者・統合失調症者・自閉症者などでしたが、今度は、大学の教養課程・芸術関係の学生さんや、言語学・数学・数理論理学に関心のある方々の目にも触れるように、解説を全て公開する予定です。

とりあえず、岩崎式日本語が、「学術」的な新発明などというものではなく、一つの「芸術作品」である、という立場は変わっていま

せん。

ただ、岩崎式日本語の発想は、ゲーデルの不完全性定理やハイゼンベルクの不確定性原理と親和性があるということは、数理論理学・理論物理学分野の方からご指摘いただいております、自分でも気づいています。チヨムスキーの生成文法理論に対しては、図らずも異議を唱える結果となっています。

そもそも、ゲーデルもハイゼンベルクもチヨムスキーも、かなり合理主義者であり、中でもチヨムスキーはデカルトの世界観を踏襲していることを自稱しているくらいです。

岩崎式日本語の世界観自体が、我々日本人（と言うより、ここでは日本人の私）が日本人の発達障害者などの言葉遣いを追跡したときに本能的に感じる「人間の文法理解の原点（動物の一派にすぎない人間の外界認識）」というべきものをチヨムスキー的な合理精神は説明できない、という私の立場を表明してしまっています。

ところが、岩崎式日本語の論理構造自体が一つの数理論理・合理論である、むしろ論理式・形式言語で記述できるかもしれないから、試みてほしい、というご要望を数理論理学・計算言語学分野の方から頂くようになりました。

簡単に言うと、「発達障害者の感性が、なぜ現代日本語や現代英語では記述できず、古典日本語や先住民族語、岩崎式日本語では記述できる可能性がある」と岩崎さんが考えるのか、ということ、数学的に記述してほしい」というご要望です。

私自身も、自分の言語の数学的記述が可能ならば素晴らしいと思

っていますが、何しろ、いくら色々な分野に目を通していきながらと言っても、数学のプロではないので、なかなか前途多難です。

とを両立させることです。  
[http://iwasakijunichi.net/iwasaki\\_shiki\\_nihongo/](http://iwasakijunichi.net/iwasaki_shiki_nihongo/)

#### 「第四期岩崎式日本語」の解説（本編）を全公開しました

#### Questions（英語圏の閲覧者向けのページ）

二〇一二年八月十七日 起筆、攔筆、公開

二〇一六年八月十日 起筆

（二〇一八年七月十五日追記…現在、リンク先の岩崎の旧サイトの

二〇一六年九月一日 公開

内容は『全集』に収録。）

二〇一七年四月二十四日 最終更新

「第四期岩崎式日本語」の解説を以下のアドレスに掲載しました。

別添資料を見よ。

一般学習者向け文法マニュアルもあります。

本編は、従来の言語学記号を多少独自に用いた解説になっています。

#### 第五期岩崎式日本語教本

続編は後日載せる予定です。

サブタイトル（本編一ページ目にあります）がやたらと長いです

二〇〇五年十一月二十四日 起筆

が、「個人的な芸術性を帯びた言語学的成果」というよりも「偶然に

二〇一二年八月十七日 女性施設の閲覧室にて提供開始

も芸術性を帯びている芸術作品」とであるという私のこの言語への態

二〇一七年二月二十四日 第五期用に作り替え、試用中

度をよく表しているつもりです。

二〇一七年三月二十七日 最終更新

第四期の目標は、「重度解離や重度鬱を帯びた言語障害者が、例えば従来のように、買い物や忘れられないように冷蔵庫に貼るメモの文章に使えるような言語であること」と、「言語学・数学・アルゴリズム的な知見と実用に耐えうる高度学術性を失わないで記述すること」

現在、一般利用者には非公開だが、公開準備中。  
他の閲覧希望者は、個別に岩崎まで問い合わせよ。または、各女性施設の閲覧室を訪れよ。